

# 岐阜大学から学ぶ！ 道路インフラを維持管理する ME 養成制度とは？

国際協力機構(JICA)が実施する課題別研修「道路アセットマネジメント B」に9か国9名の研修員が来日し、約1か月の間道路アセットマネジメント手法について学びます。4年ぶりに来日しての実施となる本研修では、岐阜大学工学部社会基盤工学科を訪問し、岐阜県内で独自に認定を行っている「社会基盤メンテナンスエキスパート養成制度（以下、ME 制度）」や橋などの実物大模型が並ぶインフラミュージアムを視察します。

ME 制度では行政機関や民間企業と連携し、どのように道路や橋を維持管理されているのでしょうか。また、研修員の目にはどのように映るのでしょうか。

※ 取材をご希望の場合は、**2月27日（火）までに**下記問い合わせ先にご連絡ください。研修概要、全体日程、研修員名簿等、ご共有いたします。

【本件に関する問い合わせ先】

東京センター 経済基盤開発・環境課 亀井千裕

TEL 03-3485-7659 e-mail: [Kamei.Chihiro2@jica.go.jp](mailto:Kamei.Chihiro2@jica.go.jp)

(電話受付時間：午前9時30分～午後5時00分)

## &lt;研修概要&gt;

1. 研修名：2023年度課題別研修「道路アセットマネジメント B」
2. 研修期間：2024年2月18日（日）～3月16日（土）
3. 研修目標：本国内における道路アセットマネジメント定着に向けた取組状況・研究開発状況の理解や点検データを活用した予算計画策定・健全度推移予測手法の理解・習得を通じて、自国の道路アセットマネジメントの定着に向けて必要な対応策や改善策が策定される。
4. 研修参加国及び対象機関：9か国の道路アセット（橋梁、トンネルを含む）の整備・維持管理を管轄する機関  
バングラデシュ、エジプト、エチオピア、モロッコ、ネパール、フィリピン、ルワンダ、トルコ、ザンビア
5. 日程

日付	時間	プログラム
2/29(木)	10:00～12:00	講義：点検技術のこれまでの変遷、ロボット点検技術の最近の変遷 第3期戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）のシーズ試行の場での最新技術の紹介と今後の展開。
	13:00～14:00	講義：ME 制度及びインフラミュージアムの紹介
	14:20～15:40	視察：インフラミュージアムの説明 （各モデル 20分×4つ）
	15:40～16:40	実習：点検・診断タブレットの活用、加速度計による大学構内橋梁の計測実施、その活用方法の説明

場所：岐阜大学（住所：岐阜県岐阜市柳戸1-1）にて実施予定。

※プログラム内容等が、変更になる場合があります。